

東二よつばの会アンケート12月② まとめ

「コロナ禍で集まらないでできること」

回答者：9名（コアメンバーの回答含む）

① このコロナ禍で、集まらずにできることは何ですか？（密にならない活動、屋外で行うこと等）

□集まらずにできること、していること

- ・ zoom ができる方は、zoom を活用しても良いのでは？
- ・ 当面はアンケートで議題を共有してはどうか？
- ・ スーパーへの買物の時、道を歩いている時等、マスクをしていても相手の顔が分かるので、お互いに挨拶はしている。
- ・ スマホ又はパソコンを使ったりリモート会議をグループ化して行う等、考えてみてはどうか（スマホなら皆持っていると思う）。
- ・ 電話で話す、近隣で声をかけ合う（ソーシャルディスタンスを保つ）
- ・ 地域活動や支え合いに関する情報を集めてみる。
- ・ 電話をかけることぐらいしかないのでは？

□ご意見等

- ・ この1年間で、これまで当たり前に出ていた生活・日常は大きく変わりました。「集まらないで出来る事」、難しい質問ですが、どなたに伺っても「今は自粛しましょう」と答えが返って来ると思う。
- ・ こんなことがあったが、自分のした行動が正しかったかどうかを聞かれることもある。

② 助け合いを考える中で、昔（自分の子どもの頃等）どのような助け合い（お互い様の関係）がご近所でありましたか？（例：ご近所の方が体調が悪い時におかずを持って行った、醤油を貸した等）

□昔あった助け合い

- ・ 50年位前、父が近隣ではあまりなかった自家用車を所持していました。遠足行事があると近隣の子供たちも乗せて送迎をしてくれました。近隣の方がお産が始まった、体調が悪いという時も車を出していました。私が小さい頃は隣近所のおばさんが熱を出したなんて聞くと、隣人に食べ物を運んだり、また逆にしていただいたこともあります。お互い様で。
- ・ お向かいの高齢者宅に強引な勧誘をする人が来た時、相手が気が付くように自宅から様

子を見ていた（勧誘者は人の目を気にしてすぐに帰った）。

・戦中生まれの私が小さい頃は、都内から着物と食料を物々交換に来た方が何人もいました。両親が庭先に作った家族のための野菜を持たせて相手が持参した着物は、余所で使いなさいと言って帰したのを今でも覚えています。

- ・子どもをあずけたり、あずかったり。
- ・ご近所に体調の悪い方や高齢者がいたら、ついでに買い物をしてあげる。
- ・おすそ分け。
- ・調味料の貸し借り。

□ご意見等

・近隣同士で、このコロナ禍でも体調不良時の見守り等をやっている方々もいると聞きます。

- ・付き合いは余りないが深入りはしない。
- ・数えきれない事がありました？

③ 昔行っていたの助け合いの中で、今につなげられること（現代版にできること）は何ですか？

□現代版にできること

- ・電話やLINE、メール等で連絡をし合う。
- ・お互いに買物を隣の人に分まで買ってきてあげる。（現実的には難しいですね…）
- ・日中、雨戸が空いているか等を気にかける。

□ご意見等

・今も昔も同じだと思う。向こう三軒両隣は余り深入りしない。
・「昭和→平成→令和」世の中変わっても、人と人との繋がりは大きく変わってはいないと思う。他人からの支え・サポートを大事にして生活してほしい！

- ・どんな時代も、他人に対する優しさだと思えます。
- ・今も昔も変わらないのでは？
- ・ただ、関わりが希薄になってきているのは確かです。

④-1 見守り活動についてお聞きします。

自分が一人でもできそうな見守り活動は何ですか？（例：いつも挨拶していたが、見かけなくなった方について知っていそうな方に聞いてみる等）

□自分が一人でも出来そうなこと

- ・「いつもと違う」という視点を持ってもらえればなと思います。
- ・また、ポストがいっぱい、洗濯物が干されっぱなし等、気になることが気づけるように意識してもらえればと思います。
- ・色々なお宅を見て、いつもと同じか違うのか見守りをする（洗濯物、雨戸の開閉、庭の植木や草刈り、ポストの郵便）
- ・（集合住宅で）他の部屋の生活音が聞こえてこない時、知っていそうな方に聞いてみる。
- ・一人暮らしの高齢女性から、心配ごとがあったら民生委員をしていた時と同じように電話をしてきてくれる。
- ・近隣で気にかかる方がいて、連絡が取れる方なら直接聞いてみる。取れない方ならずっと気にかけておく。
- ・何かの折に、知っている方に聞くことができるかもしれない。

□ご意見等

- ・気になることがあれば、高齢者相談センターに相談へ。また、何となく気になるようであれば、たまに皆で集まって情報交換する。
- ・日頃の付き合いで決まると思う。
- ・個人的には現在も行っている。挨拶・声かけ等。最近は民生・児童委員が基本的活動で行っているので、重複するため中止している。
- ・ホームページにある、取り組もうとする課題（１）～（４）を基本とした活動が原点にあると思うのですが。（※１）

④－２ 何人かでできそうな見守り活動は何ですか？（例：気になる方に声掛けや安否確認を数人で行う等）

□何人かで出来そうなこと、していること

- ・まずは、周りの家やスーパー・コンビニ等、日常の中で「いつもと違う」、「何かおかしい」と気づけるよう、可能なら数人で行えたらよいのかなと。
- ・直接訪問はしなくて良いと思います。声掛けもなくても良いです。いつもと違うことを見つけていただき、情報共有することが大切。
- ・声をかけるチャンスがあれば、「良いお天気ですね」くらいで顔見知りになることも良いのではないのでしょうか。
- ・近所で何か気になったことがあるか等、周りで何か変化が起きていないかの情報交換を試みる。
- ・日頃の付き合いの中で、話しができるのでは？
- ・２人以上で活動する事は、回り（相手）の安心感に繋がると思います。声掛け・安否確認も中々、相手との信頼関係も必要かと…？

- ・家族と同居している高齢者はまだよいのですが、まったく独りで一日を過ごす高齢者には気をつけている。
- ・町中でお会いした時も短い言葉ですが、声かけをしている。
- ・声掛けや訪問するのはひとりより何人かの方がやりやすいが、今はできませんね。

□ご意見等

- ・直接自宅訪問したり、声をかけるというようなことはハードルが高いと思います。
- ・これらの活動も、民生・児童委員と同じで活動であり、相手方に迷惑をかけている感があるので、調整が必要と考えている。

⑤ 来年度に東二よつばの会で話し合いたい具体的なテーマは何ですか？

□東二よつばの会で話し合いたいテーマ

- ・状況がどうなっているのかわからないので何とも言えませんが、「困りごと」と「今できること」を考えていければいいと思います。
- ・世界中の人々が心に傷のように残ってしまったコロナ禍は、簡単には回復できないと思います。小さくてもいいから、あそこに行って世間話をしてみたい。一緒にお茶を飲みたいと思っていただける場所から始めても良いと思います。

□ご意見等

- ・コロナの情勢により分かりません。
- ・コロナがおさまってきたら、近況を話していく中で考えていけたらと思います。
- ・コロナが続く状況の中で、何ができるのかを考えてみてはどうかと思います。
- ・東二よつばの会は何をすべきか等、具体的テーマ等は、民生・児童委員との合同会議等を開催し、お互いにやるべきテーマ等、調整する必要があると考えます。
- ・すみません！思いつきません。

⑥ お配りした「みんないつかは年をとる」①～⑪の冊子（漫画）を読んだ方にお聞きします。冊子を読んだ感想を教えてください。

□冊子を読んだ感想

- ・考え方はある程度理解できると思うが、皆がこれに賛同できるか？押しつけがましく感じてしまうのは、私だけでしょうか？
- ・地域の中で関わりを持つということは、今後、高齢社会の中では大切であると、近隣のちょっとした支援で、高齢者があたたかい生活を送れると感じています。あたたかい地域

作りは、コロナ禍ではきびしいと思います。でも、小さな見守り活動からスタートでも良いのかと。本当は、たまり場から支え合いの仕組みをと最初は考えていたのですが…。

- ・漫画になっているので読み易かった。
- ・介護に関わる課題が色々あると思った。
- ・各編共、文字数の読み易さ、漫画の優しさが伝わって来ました。

⑦ その他（ご意見等）

- ・今は自分のことだけで皆精一杯と思います。
- ・コロナについては考え方が千差万別であり、考え方が違う方々がお互いに理解し合うということは、とても難しいと感じます。
- ・厳しい状況下、「今できること」を考えるという一点で一致していければいいなと思います。
- ・地域福祉をどう考えるのか？また、協議体と福進協の違いなんてないことを理解していただくにはどうすれば良いのでしょうか？
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、集まらない状況が当分続きそうなので、自分に何が出来るかを考えていきたい。
- ・新型コロナウイルスの感染が拡大している状況の今は、まず自分が外出を控え3密をさける生活をする事かと思います。その上で、近所の心配な方があれば、できる限りで状況を見守るようにする。今後の協議体の活動は、コロナが落ち着いてから前に進めたらと思います。
- ・各圏域での活動報告も「東二よつばの会」と同じ様な内容・話し合いを持ち、問題点として見受けられます。その報告（取り組み・活動状況等）を各圏域一緒に共有して、新座市生活支援を盛り上げたい。
- ・何かをやらなければならぬと、共通課題を関係団体（機関）と調整し、重複しない活動、すなわち、東二よつばの会として独立した活動テーマを持って、活動する事が効率的であると考えますが如何でしょうか。又、会議等は新座市も感染者が増加中は中止（長期的）すべきと思う。

皆様、ご回答ありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、東二よつばの会の開催が中止となりましたため、1月の東二よつばの会開催時の話し合いの後にまとめる予定であった「東二よつばの会アンケート12月②」を返信していただきまして、まとめました。

コロナ禍で、以前に話し合った困りごとに加え、新たな困りごとが見えてきたように思います。コロナ禍の今・コロナの感染拡大がおさまってきた時にできること等、この先の私達の暮らしの中で「あったらいいな」と思うことを考え、形にしていけたらと思っております。

ご意見や地域の情報等がございましたらご連絡ください。よろしくお願いいたします。
皆様、お身体にはくれぐれもお気をつけください。

※1 東二よつばの会ホームページ内の「今後、東二よつばの会が取り組もうとする課題（1）～（4）」は以下のことです。

- (1)「こころーム」の運営・活動内容について(継続)。
- (2)東二圏域内の居場所『世代を超えてふれあう場所づくり』を広げていく(継続)。
- (3)東二よつばの会 社会資源と課題の中の地域課題の整理・把握。
- (4)コロナ禍の「新しい生活様式」の中で集まらずにできる活動の検討。

★「みんないつかは年をとる」①～⑪の冊子をご希望の方は、福祉政策課 東部第二圏域担当生活支援コーディネーターまでご連絡ください。